

四ッ葉だより

No.114
2017.05

バラのシーズン迎えました [四ッ葉園]

ごあいさつ

理事長 青戸 雄一

新緑の候 ここ古江の地では、山々が浅い緑一色、さわやかな風がそよぐ季節となりました。

新年度がスタートし、各事業所も初々しいメンバーを迎えました。やっと環境に慣れ、活動に慣れてきたことでしょう。

また、4月中旬から始まった、「給食センター及び小体育館」工事の槌音は、新たな「働く場」「活動の場」への展開の音。大きな期待が寄せられています。近隣の皆様には、ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願い致します。

今年度は各所で様々な改修・整備を予定しております。利用者様、職員にとって、さらに活気のある魅力的な事業所に、と考えているところです。

さて、今年度の当法人のスローガンは「変革と継承」です。

時代の変化に対応して、仕組み作りやサービス提供の見直しを行い、現在利用中の方はもちろんのこと、新規で利用したいと思っただけの施設づくりに取り組んでいきたいと思っています。

また、「流汗同労」「心は福祉、眼は企業」の理念をベースに、福祉会の原点はしっかりと引き継ぐことを法人の要にしていきたい、と考えています。

今年度も、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

職員ワークショップ

クリニカルアート（臨床美術）

株式会社 谷口印刷

講師：西村亮子さん（臨床美術士）

誰もが楽しめるクリニカルアート。

誰もが苦手意識を持つことのないように工夫されたアートプログラムで、出来栄よりも制作過程を重視するのが特徴です。

単にそれを見るだけでなく、触る・音を聴く・味わう、と「さつまいもを感じる」ことからワークショップは始まりました。

絵が苦手なため不安もありましたが、先生とのコミュニケーションの中で些細なことも褒めていただき、自由に楽しく取り組むことが出来ました。

五感への刺激とリラックスできるコミュニケーションによって脳が活性化され、生きる意欲が湧いてくる効果があるとのことで、今後は日中活動の一環として取り入れていこうと考えています。

（四ッ葉園 安達 智子）



春のディナーパーティー (3/17)

恒例の行事「春のディナーパーティ」に初めて参加させて頂きました。

3月に入った頃より、利用者の皆さんから「楽しみだね」との話を聞くことが多く、皆さんの期待感が伝わってきました。

パーティ当日、ドレスアップした皆さんとのおいしい料理と笑顔！ とても素晴らしい会食となりました。今から来年が楽しみです。

(やすらぎの家 川合 みわ子)



(就労支援トピックス) 『実習からトライアル雇用へ』 河津伸志さん

就労移行支援事業所の作業訓練を行い、企業での施設外実習を経て、3月16日から島根日産自動車株式会社でトライアル雇用となりました。

仕事の内容は車検・修理された車輛の内外清掃。洗車機を掛けた後、ていねいに拭き上げ、掃除していきます。実習は2月、厳しい寒さの中、水仕事は大変だったと思いますが、これまでの作業で培った「体力」「仕事力」でしっかりやり遂げました。

社員の方々から「きれいになったね」など労いの言葉をかけて頂き、「この仕事を続けていきたい」と強く思ったとのこと。正式雇用を目指して頑張っています。就労支援とグループホームが支援チームとして支えています。

(アクティブ'99 就労支援担当 長瀬 晃)

研修報告 四ッ葉福祉会「安全の日」研修

四ッ葉福祉会では、毎年2月24日を「安全の日」と定め、この時期に事故防止のための様々な取り組みを行っています。

福祉施設における事故やリスクは、リスクマネジメントにより危険を予見し、効果的・効率的に危険因子を除去していく必要があります。

その為にも施設として、KYT(危険予知訓練)の実施や業務手順書(マニュアル)の作成と見直しを定期的に行い、職員ひとり一人が日々の業務の中に潜むリスクを考え、行動しなければなりません。

当福祉会にとってこの「安全の日」は、過去に作業中事故が起こった、忘れることのできない特別な日。常に振り返り注意喚起します。

利用者の皆様が、施設を「安心」「安全」として利用して頂けるように、研鑽・実践していきたいと思っております。

(授産センターよつば リスクマネージャー 金山 努)



連載第6回

よつば献立の
御品書き
春編

★ごはん
味噌汁：★味噌、たまねぎ わかめ ねぎ
あかうおの照焼：あかうお レタス ねぎ
ほうれんそうの炒め物：★ほうれんそう かにかま しめじ
木の芽あえ：タケノコ かまぼこ さんしょう★みそ
漬物：★大根
デザート：キウイ
★は地元古志町の食材 ☆は農加工班で作られた食材



栄養満点のホウレンソウ！和洋中と日々の食卓に取り入れてみて下さいね



古志町は佐陀川、柿原池という「水」に恵まれた豊かな土地。中古志、下古志地区の美味しいお米、野菜がよつばの食卓を豊かにしてくれています。

栄養士より

3月には薦津町の畑でホウレンソウが収穫でき、四ッ葉園の給食では和え物やサラダ、汁物に大活躍でした。ホウレンソウに豊富なβカロテンはガンや動脈硬化、心臓病の予防してくれるビタミンの一種です。体内ではビタミンAにかわりませんが、肝臓などにたまるビタミンAと違い、不足分だけ変化するので過剰症になることもありません。少量の油と摂取すると吸収力がアップします。

＜栄養士ワンポイント＝高木管理栄養士＞

この時期のホウレンソウは葉が柔らかくおいしだけでなく栄養価も高まっています。夏採れに比べ、ビタミンCは3倍にもなります。旬のお野菜はお財布にも優しく嬉しい事がいっぱいですね。

Hotsuba Topics

冬から春にかけて行なわれた行事をトピックスで紹介します

桜もち作り



あんこたっぶりの桜もちができました



春の遠足 フォーゲルパーク（四ッ葉園）



花いっぱい
おなかもいっぱい



「子どもたちの社会見学&体験」受け入れ
すだちクラブ様



パン工場見学と買い物



張り子の工芸体験
「こんなのできたよ！」

お花見外出
(授産センターよつば)



白湯公園と
イングリッシュガーデン



連載
第7回

四ッ葉アーカイブズ



30年の膨大な記録=写真から、「懐かしさ」だけではなく、「未来に」つなげたい1枚をご紹介します。

Yotsuba Archives

「地域に迎えられ、支えられて…地域懇談会」

四ッ葉園は、紆余曲折あってこの古志町に迎えられ、根差し、育まれてきました。

地域の皆様と「思い」を語り合いたい、また日頃のご協力に感謝したい、と始めたのが「地域懇談会」でした。

五月連休明け、ちょうど田植えもひと区切りの若葉頃。町内会長さん各自治会役員さんやこの地に引っ張って下さった委員の方々が続々園の会場にいらっしゃいます。

四ッ葉自慢の料理で、お酒を酌み交わしながら、あちこちでできる談笑の輪。時にはきついお叱りで激励されながら、楽しく貴重なひと時を過ごしました。

日常的にこの地域内を行き来し、活動できることは、この地域があってこそ。いつまでも心に留めておきたい行事です。



締めは(毎回恒例の)万歳三唱!でした

*アーカイブ=記録を保存・活用し、未来に伝達することの意

行事予定

5月	25日(木)	工賃支給	8月	10日(木)	全体集会
	26日(金)	第1回理事会事業報告		11日(金)	夏季帰省日
	31日(水)	授産会議		15日(火)	夏季帰省帰園日
6月	16日(金)	評議員会	9月	18日(金)	家庭実習報告会(ビヤガーデン)
	23日(金)	工賃支給		25日(金)	工賃支給
	31日(水)	授産会議		11日(月)	全体集会
7月	10日(月)	全体集会	25日(月)	工賃支給	
	25日(火)	工賃支給	27日(水)	授産会議	
	26日(水)	授産会議	10月7日(土)	四ッ葉まつり	

相談窓口

たんぼぼ事業所…1件
利用者様のご家族より「下駄箱の記名がない」との相談がありました。確認したところ、名札がはがれてなくなっていたことが分かりました。ご本人が不便な思いをされていたこと、こうして相談していただき、気付くことになりました。反省とともにご相談に感謝しております。

編集後記

桜や薔薇の盛りが過ぎ、新緑まばゆい時季となりました。さて、新たな事業年度となり、はや二月が過ぎました。新たな環境に飛び込まれた方々も、環境に慣れてきた時期ではないでしょうか。私たちも、みなさんの新たな力を生み出したいこう、と思う所存であります。本年度も四ッ葉福祉会をよろしくお願い致します。

四ッ葉だより No.114
平成29年5月25日発行

発行所
社会福祉法人 四ッ葉福祉会
〒690-0121
松江市古志町1551-4
TEL: 0852-36-8877
FAX: 0852-36-8894
URL:
<http://www.yotsubaen.or.jp/>

編集・印刷
四ッ葉福祉会広報委員会

※本紙に使用した写真等は本人・家族の方の了解を得ています。